

多田東地区福祉委員会 第4次地区福祉計画

地区の特徴

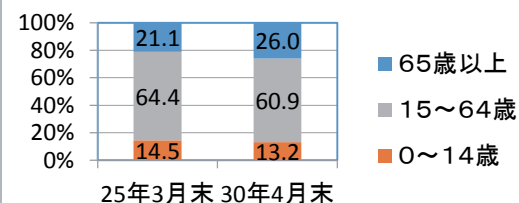
川西市の中東部に位置する多田東地区は国道173号線が南北に縦貫しており、沿道は商業地区として栄えています。古くから農業地区として歩を進めてきた文化と、昭和40年代以降に宅地開発された新しい文化が融合している街です。更に地形的に地域の南～東側には南北に連なる丘陵地帯が豊かな自然と共に急峻ともいえる住宅地を作っており高齢者の生活や住民同士の交流が円滑に出来ない面もあります。

多田東地区福祉委員会は、「つくろう！参加しよう！助け合い」の輪！！を福祉目標に、誰もが参加し、助け合いの輪が広がるつながりづくりを大切にしたい地域福祉活動を推進します。

また、その活動を通じて「暮らし続けたいと思うまちづくり」の風土が、世代間を超え伝承されていくよう取り組んでいきます。

多田東小地区の人口、世帯数、高齢化率推移

	平成25年3月31日現在	平成30年3月31日現在
●人口	13,368人	13,184人
●世帯数	5,517世帯	5,642世帯
●高齢化率	21.1%	25.9%



福祉目標

「つくろう！参加しよう！」助けあいの輪！！

地区の重点事業

重点1 福祉活動を行う人材確保と育成

重点2 身近な支えあい、助けあい活動の推進

重点3 地域の居場所づくりの充実

重点4 世代間交流事業の充実

地区別ワークショップでの意見

- ◇ふれあい、支えあう地域福祉活動の推進
- ◇誰もが集い、いこい、学び場の充実
- ◇集いから人材育成につながる仕組みづくり
- ◇関係団体との連携協働
- ◇みんなで助け合う、暮らしやすいまちづくり

第3次地区福祉計画からの課題 (25年度～29年度)

- ◇ふれあいひろばの企画の充実
- ◇支え合い助け合い活動の充実
- ◇困った方の「助けて！」を見逃さない組織体制
- ◇福祉委員会（福祉）への理解を深める場の充実
- ◇地域福祉活動に資する財源の確保
- ◇福祉活動者の更なる拡充

現在の地区の取り組み

- 福祉ネットワーク会議
- 世代間交流事業（幼児・児童・老人会）
- 子育てサロン「多田東子育て広場」の実施
- 障がい者交流事業

- ふれあい広場の開催
- 地区ボランティア（ほほえみ）の活動
- 認知症を学び対応を研修
- 一人暮らし高齢者の集い

など多数



認知症行方不明者SOS訓練



ひとり暮らし高齢者のつどい

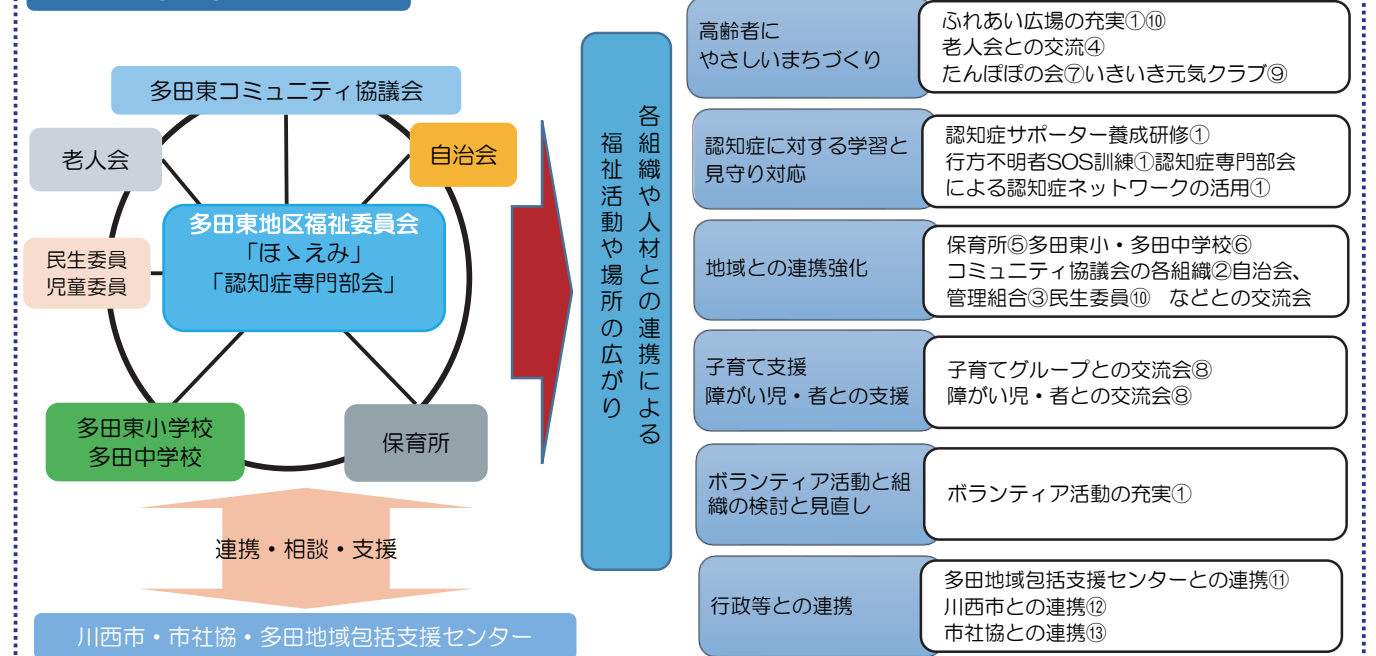


障がい児・者交流事業（バーベキュー）



保育所クリスマス会

つながりMAP



- ①多田東地区福祉委員会
・ボランティア部会「ほほえみ」
・認知症専門部会（認知症SOSネットワーク）
・ふれあい広場
- ②多田東コミュニティ協議会
- ③自治会（マンション管理組合を含む）
- ④老人会
- ⑤保育所
- ⑥多田小学校・多田中学校（PTAを含む）
- ⑦たんぼほの会
- ⑧子育て広場・子育てグループ、障がい児・者グループ
- ⑨いきいき元気クラブ
- ⑩多田民生委員児童委員協議会
- ⑪多田地域包括支援センター（認知症資源ネットワーク）
- ⑫川西市
- ⑬川西市社会福祉協議会

多田東小地区の自治会は以下のとおりです。

- 平野 ○西池 ○東多田
- 鼓が滝 ○泉川西東多田団地
- グリーンハイツ東多田マンション
- 新東多田 ○クリーンタウン
- 鼓ヶ丘 ○古坊之下
- クリーンタウン鼓が滝
- 百合が丘 ○清和会

※その他、マンション管理組合などがあります。





目 的

福祉委員役員だけでなく、誰もが身近に「福祉」を感じる取組みを通して、幅広い人材を確保し、まちづくりを推進します。

具体的取り組み

○市社協と連携した福祉講座や研修会の開催をすすめます。

- ① 若い世代や団塊の世代を対象とした福祉活動へのきっかけづくり講座を開催します。
- ② 福祉委員活動の理解が深まるように、新任福祉委員研修会を定期的に開催します。

○若い世代とともに、地域活動をすすめます。

- ① 福祉ネットワーク会議等の協議の場を活かし、高校や大学との連携を強化し、地域活動に参画しやすい土台づくりを推進します。
- ② 小・中学校のPTAとの行事や研修（認知症サポーター養成研修）等、連携を行うとともに福祉活動への参加を呼びかけます。

○福祉委員会の活動への理解が深まるよう住民にアピールします。

- ① 広報掲示板、コミュニティ広報紙などを活用した啓発活動を推進します。
- ② 居場所、福祉講座などへ参加などを通して、身近に「福祉」を感じ、より積極的な参加につながるよう働きかけます。

目 的

近隣住民のちょっとした支えあい、助けあい活動のあり方を検討し、自分らしく地域福祉活動に参画できるしくみづくりを行います。

具体的取り組み

○住民が「これだったら参加したい!」という活動やニーズ（事業、活動）を整理していくなかで、助けあい活動のしくみづくりを行います。

その経過で、多田東地区らしい今後のボランティア活動体制や方向性を検討します。

○地区ボランティア部会「ほゝえみ」の活動において、地域（依頼者）のニーズに対し、今の体制で出来る活動、出来ない活動を検討します。

（現在の人員、スキル、体制、体力で出来るかどうか、費用が発生するかなど）

- ① 話し相手、庭の草取り、ゴミ出し、見守りなど、身近なボランティア活動の検討をします。
- ② 活動依頼者や地域のニーズが、現在の体制やしくみで出来ない場合、有償活動やNPOなどへ「つなぐ」役割も含め検討します。



目 的

誰もが笑顔で集える安心・安全の居場所を充実させるために、地域密着の居場所をよりきめ細やかな地域で開催するとともに、新たな企画も検討し取り組みます。

具体的取り組み

○ふれあい広場の有効活用と充実を検討し、参加者の増加をめざします。

ふれあい広場の内容や企画を検討するとともに、広報による啓発、雰囲気づくりや出張心配ごと相談の開催など包括的に取り組みます。

○いきいき元気クラブ、ふれあいサロン、高齢者と子どもの世代間交流など様々な居場所を開催することで、新たな出会い、つながりに発展するよう取り組みます。

地域の資源を活用して地域密着の場を作る。

（例：コミュニティ各関係機関、人材、場所、地域交流拠点「しゃりりん」の活用や各自治会館を利用した相談会など）

○認知症に関する相談や介護する方への憩いの場づくりとして、認知症カフェの開催について検討していきます。

目 的

高齢者も子供たちも、また保護者も住民の皆さんが楽しく安全に「わが町」で暮らし続けるために、世代を超え、それぞれの顔が見える交流を続けます。

具体的取り組み

○各種行事へ積極的に参加するとともに、他の組織と共に福祉の強み（地域福祉、心配ごと相談、関係機関へのつながり、ボランティア活動など）を活用して協働での連携事業を行います。

○保育所、小学校、中学校などの各行事へ参加・協力するとともに、老人会、自治会などとの交流を積極的に行います。

- ① 保育所：お茶会、運動会、クリスマス会、生活発表会などにおける交流をすすめます。
- ② 小・中学校：舎羅林まつり、三世代ふれあい広場、認知症サポーター養成講座、車イス体験学習などにおける交流を進めます。
- ③ 当事者団体：障がい児・者との交流会を開催し交流を進めます。
- ④ 老人会：小学校における昔遊びのゲストティーチャー、たんぽぽの会、舎羅林まつりなどで、交流を進めます。

この他に地区福祉委員会総会、福祉委員会全体会議、福祉講座など、様々な地域福祉活動の場面において、交流を広めます。

多田東地区 地区別ワークショップ及び地区福祉計画策定検討会議

日 程

- ▷ 平成29年 9月21日（木）
- ▷ 平成30年 2月12日（月）ほか1回
- ▷ 平成30年 2月15日（木）

内 容

- 地区別ワークショップ 開催
- 地区福祉計画策定検討会議 開催
- 福祉ネットワーク会議 開催

多田東地区福祉委員会事業一覧表

事業名	区分	内 容	
	新規・重点	内容、回数、定期開催の場合は曜日	
ふれあい広場	重点	ふれあい相談、憩いの広場	毎週月曜日
ひとり暮らし高齢者の会		ひとり暮らし高齢者との親睦交流会	6月（年1回）
舎羅林祭り		小学校での交流会へ参加、車いす 訓練実施	夏休み
多田中学校への車いす体験		1年生を対象に、車イスの体験を通して障がいへの理解を深める	9月
障がい児・者との交流会		バーベキューや球技又はカラオケ大会 など	9月～10月
多田保育所運動会		老人会へ呼びかけ、共に参加	10月
老人会との交流会		コミュニティ内の老人会との交流会	10月
認知症行方不明者SOS訓練		包括支援センターと訓練 （福祉委員、自治会など）	10月体育の日
多田保育所クリスマス会		サンタクロース2名派遣※1名は老人 会代表）、果物プレゼント	12月
三世代ふれあい広場	重点	餅つき、餅まるめ、昔遊びなど、 PTA(ジョイフルフレンドクラブ)や老人 会と参加	12月
ひとり暮らし高齢者への 年賀状作成と配布		多田中学校生徒による年賀状作成と民生委 員・児童委員による配布	12月
たんぽぽの会		一人暮らし高齢者との親睦交流会	12月
多田東小学校昔遊び授業		1年生への授業として老人会へ呼びか け 共に参加	1月
多田東小学校車いす体験		5年生を対象に、車イスの体験を通し て障がいへの理解を深める	2月
認知症サポーター研修講座		各自治会、多田東小学校PTA,他へ研修 （多田地域包括支援センターと共催）	随時
福祉総会		全福祉委員を対象とした定期総会	5月
自治会長との懇談会		各自治会長との懇談会	5月
新人相談員研修		ふれあい広場の新人担当者へ研修	6～7月
福祉全体会議		福祉委員への研修と福祉活動への参加 呼びかけ（アンケートなど）	7月
福祉ネットワーク会議	重点	福祉ネットワーク会議メンバーによる 各団体の状況や地域福祉に関する協議 身近な支えあい、助けあい活動の検討	年2～3回（随時）
福祉講座	重点	地域福祉に関する講座	年1回（3月日曜）
福祉委員理事会（役員会）		行事予定と報告、事案の審議・決定	毎月第3木曜日
4役会		理事会での事案の事前検討会	毎月第3月曜日